

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生協の基本理念をもとに10の基本ケアの勉強会を実施し、関わりに生かしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域のイベントに積極的に参加している。認知症カフェをグループホームで開催し、地域の方と交流している。	町民が参加しやすいように開催していた。メンバーさんが地域のイベントに参加していて、交流を持っていた。家族ぐるみのイベントを企画してはどうか。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議にメンバーさんも参加し取り組み状況について報告し、意見をお聞きしてサービスに生かしている。	会議では詳細な報告があり、メンバーさんの笑顔の写真も見ることが出来て、実に楽しそうです。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症カフェを通して地域包括支援センターの担当者と連絡をとっている。しかし他の部署とは交流が少ない。	認知症カフェを通して、地域包括支援センターと協力関係を築いている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束について一切行っていない。玄関やリビングの窓など施錠も行っていない。また身体拘束についての研修も行っている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	拘束されていないという思いがあるだけで、安らかに生活出来るのだと思う。(ご家族)
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に虐待防止の研修を行い、意識は根付いている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度についての認識はあるが、広く職員が学ぶ体制にはなっていない。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要な時に十分にご説明をして、理解して頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メンバーさん、ご家族のご意見をお聞きし職員間で話し合い、共有し運営している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メンバーさんや家族の意見、要望を職員間で話し合い運営出来ていた。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営状態は良好であるが、詳しい内容の説明が出来ていない。職員からの意見について十分に聞けていない。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が向上心を持って勤務するための環境を整える必要がある。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員がよりやりがいを感じる事が出来るように環境を整える必要がある。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護技術や認知症についての研修を数多く行い、業務に生かせるように学習を進めている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	きらめき内の他の拠点 GH との交換実習を行い、双方の良い部分を共有することでサービスの向上を図っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護をする、されるの関係ではなく、共に一緒に生活する意識を持って関わっている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メンバーさんの過去を知り、会話の中から思いを知り、ご家族の協力を得ながら支援している。	メンバーさんの大切にしている人、場所を知り、関係が続くように支援している。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話の中からメンバーさんの個々の思いを聞き、その人に合った声掛けをしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メンバーさんやご家族からのご意見を生かして介護計画を立て実施している。またモニタリングを行い計画の見直しを行っている。	メンバーさん、家族からの意見を反映した介護計画を作成して、実施している。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアについて個別に記録し、職員間で共有している。またその情報を元に介護計画の見直しを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	判断は難しいですが、業務が忙しいことが原因かもしれない。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他部門の職員、ケアマネとも協力して、その方に最もふさわしいサービスを提案している。	会議での報告により出来ていると感じている。メンバーさんのやりたい事が出来ていると思う。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前によく行っていた公共施設やお店などへ今も行く事が出来るように支援している。	畑作業に行ったり図書館へ行ったりと以前からやってきたことを今も続けられるように関わっている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医の医師、ナースと連絡を密に取り、いつでも健康について相談することが出来ている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の看護師、相談員と情報交換を行うことが出来た。また面会時に病状を確認し、入院期間の短縮について相談を行うことが出来た。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取り期について協力医と共に職員が話し合い、その方針を元にご家族とも相談する時間を設けることが出来た。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	AED 講習に参加し、急変時にも落ち着いて対応が出来るように訓練している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の避難訓練を行い、災害時の避難経路や職員の動きに対してイメージトレーニングを行っている。	避難訓練をしっかりと行っている。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	親しみのある態度の中にも馴れあいにならないように、声掛けに気を付けている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝の会の中で自主性を大切にして、役割決めやメンバーさんのやりたい事を引き出す関りを行っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	旬の食材を使った季節料理と一緒に作ったり盛り付けたりして、食事について楽しみを持てるように行っている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家では作る意欲もなかったくらいだが、率先して作業を手伝うなどしていると聞いて、本人も喜びながら取り組んでいるのだろう。(ご家族)
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事摂取量を個別に記録して、咀嚼、嚥下能力に合わせた食事を提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアについて声掛けを行っているが全員の個別対応は出来ていない。		A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアについて個別対応の課題が残っている。歯科受診をしたいとの声がある。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄状態に合った排泄用具の提案をしている。また便秘の対応について協力医と連携をしている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限りメンバーさん自身の能力で排泄をしていただけるように支援をしていく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴を希望される曜日を尊重している。個浴層で一人ずつ入浴を楽しんで頂いている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不安なく快適に眠れるように好みの明るさで眠って頂いている。いつでも自室で休むことが出来るように支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の内容を確認し、変更があった時に体調の変化がないか確認を行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割作り、やりたい事、好きな事についてお聞きして一緒に取り組んでいる。	メンバーさんの写真を見ると楽しそうで、日々の生活上の役割や宅配の仕事も進んで取り組んでいる。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全員で外食をしたり戸外でバーベキュー、流しそうめんなど季節のイベントを楽しんだりすることが出来ている。	SNS の写真では戸外での活動や名水マラソンの応援、家族との買い物や外食など実に楽しそうである。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物に出掛けることが多い。自己管理が可能なメンバーさんにはお金の所持と管理をいただいている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を持参されている方は自由に電話をしている。また電話の希望がある時はその都度お答えしている。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	写真やメンバーさんの作品を展示するなど、メンバーさん同士の会話が生まれる環境づくりをしている。冬期はコタツを設置して温かみある空間を作っている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングでメンバーさんが楽しく会話が弾む環境作りを心掛けている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話の中から思いを聞き取り、個別に対応できるように努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や考え方、性格など多方面からの情報を元に関わりを行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面の不安、痛みや環境面のご希望を元に支援を行うことが出来ている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室での時間を大切にし、出来る限り時間割りのない生活が出来るように取り組んでいる。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室は自分だけの空間と思えるようになじみのものを置いて頂いている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が必要と言うものは出来る限り持ってきたり買い揃えたりしたいと思っている。（ご家族）
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	戸外へのお出掛けは日常的に行っている。市内の祭事やイベントに参加をしている。	日常的に戸外へ出掛けている。とても楽しそうである。		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関りの中でできる事、できない事を見極め一緒に行なうことで楽しみや役に立ちたい気持ちを満足出来るように関わっている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や日々の中から得意なこと、好きなことを提案している。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	結のカフェ(認知症カフェ)や宅配の仕事の中で地域の人と交流ができている。	メンバーさんがもっと地域に出て、地域の人と会話して友人になって欲しい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の症状はあるが、GH にいることで馴染みになったメンバーさん達と一緒に安心した生活を送ることが出来るように支援している。	GH という場所がメンバーさんだけでなくご家族にとっても安心していただける所なのだとあらためて感じている。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前とは比べようがないほど生き生きとした生活を送っている。GH は本人にとっても家族にとってもお互いが良い関係でいられると思う。(ご家族)